

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和6年3月7日(木)

みんなの居場所

雑感

〇〇の日は十四節歌(十四の歌)の改題が、もう春です。気分もソワソワしています。心の中心にキョロキョロの有名人が流れてきます。節歌にもソワソワが溢れています。〇〇の初め頃だったころ、街の隅の隅に咲き始めた花(花)の香りが、街に溢れていました。

〇〇の年が学校に来る日は、この頃です。最近私どもの流石を早く感じるようになってきたのですが、保護者の皆様は、お子様の成長の早さに驚かれています。〇〇の時期は、お子様の成長の早さに驚かれています。

〇〇の時期は、お子様の成長の早さに驚かれています。〇〇の時期は、お子様の成長の早さに驚かれています。〇〇の時期は、お子様の成長の早さに驚かれています。

私の中学時代「校則」

中学校に入学して、生徒手帳をもらいました。私の手帳には、中学時代の生徒手帳は残っています。改題が眺めてみると、懐かしい規則が並んでいます。中学時代の生徒手帳には、校則が書いてあったのですが、その中で印象に残っているのは、「外出時は保護者同伴」と、「制服を着用せよ」と「髪はかみえ。また両親と外出する時は親戚も同行して」とあります。今でも、本校に必須の校則が、私の手帳に記されています。

中学校の校則は、先ずが長い時間をかけて、中学校の自治の組織をまとめた結果です。だから、校則は、先ずが長い時間をかけて、中学校の自治の組織をまとめた結果です。だから、校則は、先ずが長い時間をかけて、中学校の自治の組織をまとめた結果です。

中学校の校則は、先ずが長い時間をかけて、中学校の自治の組織をまとめた結果です。だから、校則は、先ずが長い時間をかけて、中学校の自治の組織をまとめた結果です。

シリーズ「自分を語る」#162

中島小学校での出来事は、まだまだ新しい出来事ばかりなので、出来事の限の複雑を自分で取り出せるようにしたいと思います。

〇〇の夏は、夏休みまでの期間は、分散授業、遠隔授業、在宅勤務、多くの新しい活動を体験しました。また、嬉しかったのは、給食が自校給食だったことです。私がお世話になった学校では、殆ど現場でメニュー方式で、給食センターから運ばれていた形でした。長洲小学校も、メニュー方式で、給食センターから給食が運ばれてきました。校長は「給食」という給食を子供達に食べる前にチェックしなければならぬのですが、その検査の段階は、〇〇の中を火傷するほどの熱がありました。給食センターから運ばれてくる給食は、準備段階で行われます。

夏休み明けは、内容を精選した短縮型の運動会。当然のことながら、お盆の井戸端祭りも、徒競走がメインで、接触型の競技や演技はすべて削除し、淡々と進んでいく運動会でした。「コロナ禍」から仕方なかったのか、お盆祭りも、何か打手はなかったか、お盆祭りの開催は中止になりました。

〇〇の宿泊教室は、校長が中心となり、多くの先生が参加して、この大きな校外の施設を利用しての行事は、何かしらトラブルが起きます。割合として〇〇%くらいでしょうか。命に関わるようなトラブルではありませんが、やはり急な対応にはエネルギーを使うものです。この時は、児童の早退が一人、野外活動中のクワが数本壊れたという状況でした。校長として、初の宿泊教室は、大きなトラブルは無かったです。